

2月26日 ならさきかんのん 七崎観音おこもり ごまほうよう 護摩法要のご参列について

この行事は「おこもり」と通称され、旧暦1月17日（大安）に行われます。そんかく まつ 尊格が祀られるお堂に籠り、祈りを捧げ過ごすことから「おこもり」と呼ばれます。観音菩薩ご縁日（18日）前日におこもりを行い、旧暦の初観音（1年最初の観音ご縁日）を迎える慣習が当山には残ります。本ページでは、本年のおこもりご参列についてご案内します。

ご用意いただくもの

- お布施：金額は定めておりません。
- かじもつ 加持物（希望者）：法要中に護摩の火・煙にあて、お加持します。内容に決まりはありませんが衣類、ペン、参考書、仕事にまつわるものなど、カバン・袋に入れてお持ち下さい。加持物は法要後、お返しします。

ご参列の手順

- 受付所にて受付をして下さい（受付は午後7時より行います）。受付用紙をお渡しするので、そちらにお名前と願い事をご記入いただき、お布施と一緒に受付にお納め下さい。護摩の火・煙にあててお加持するかじもつ 加持物をお持ちの方は、受付にてお預かりします。
- 清酒や供物をお持ちの方は、受付にて拝受いたします。熨斗を用意される場合は「御宝前」とお書き下さい（神仏習合の伝統があるので、「御神前」でも結構です）。
- 護摩木（1本500円）奉納所も設けるので、そちらで護摩木を納めていただけるとありがたく存じます。
- 法要の中で、祈願者名（受付用紙ご記入のお名前）を読み上げます。ご自身のお名前が読み上げられた際は、しんがんじょうじゆ 心願成就を願い、かしわで 柏手を2度お打ち下さい（2拍手）。また、法要の最後にもご参列の皆さまと柏手を2度打つ作法があるので、心を込めてご一緒下さい。（2拍手のことを仏道でははくしゅう 拍掌といい、祈りを捧げる作法の一つです。）
- 法要後、参列者の皆さまにだいほんにやきよう 大般若経という経本をあてて、お加持します。お加持の際は、頭を少し下げて、合掌してお待ちください。
- 法要後、授与所じゅよしよ を設けるので、お守り・お札を入用の方は、そちらでお求め下さい。
- 数に限りがありますが、ごふ お護符としてらくがん 落雁をお渡しします。

